

## ご使用上の注意事項

フラッシュ開発ツールキットご使用にあたり、下記の点をご注意お願いいたします。

### 1. ユーザ登録

CD-R に添付されている SupportInfo\_j.txt に必要事項をご記入のうえ、ユーザ登録してください。

### 2. 通信タイムアウト発生時の対応

(1) 比較的性能の低いパソコン(低速、小容量メモリ)をお使いの場合や、バックグラウンドで別プログラムを実行している場合、以下のケースで、通信タイムアウトが発生することがあります。

- (a) アップロード機能を使用する
- (b) Flash 書き込み後に書き込みベリファイ機能を使用する

この場合は、baud rate の設定を下げてご使用ください。

(2) 自動合わせ込み時に“Error No 15068: 応答データ受信タイムアウト”が出力される場合は、baud rate 設定を下げてご使用ください。

### 3. 1200bps baud rateの選択

シリアル通信スピードとして、下記デバイスのみ 1200bps が選択可能(FDM 接続を除く)です。その他のデバイスでは 1200bps を選択しないでください。

(1) H8

38002F, 38004F, 38024F, 38104F, 38124F, 38324F, 38327F, 38344F, 38347F, 38424F,  
38427F, 38444F, 38447F, 38522F, 38524F, 38534F, 38537F, 38702F, 38704F

### 4. アダプタボード(Flash Development Module)との接続

ターゲットデバイスが USB ブート製品(例:H8S/2215UF)の場合、アダプタボード(Flash Development Module)との接続はできません。

### 5. H8S/2172Fデバイスの周波数設定

H8S/2172F デバイスは、動作周波数が PLL 回路により2通倍されますが、FDT での通倍条件で2通倍を選択することができません。よって、PLL 回路で2通倍された値を動作周波数として FDT の入力周波数条件に設定してください。

### 6. アクセス権のパスワード

アクセス権を有効にした場合、設定したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

### 7. リードバックベリファイ

静電破壊等によりフラッシュへの書き込みが正常に行われないうち、ベリファイエラーが発生する場合があります。この場合、FDT が異常終了することがあります。

### 8. オートアップデートツール

アップデートプログラムをダウンロードする際、ウィザード上に“Destination”情報が表示されます。これは既にインストールされているプログラムのディレクトリ情報です。アップデートするプログラムのインストール先は、インストーラが起動された後に指定することができます。

### 9. R8C/2xデバイスのブランクチェック

(1) WS 版のデバイス

WS 版のデバイスはブランクチェック機能をサポートしていません。もしこの機能を実行した場合は、常に“Device is not blank”が表示されます。

(2) 量産版のデバイス

OFSレジスタ(0FFFh 番地)のbit0に"0"が書き込まれている場合、ブランクチェック機能を実行するとその後の通信ができなくなります。ブランクチェック機能は、OFSレジスタのbit0に"1"が書き込まれている状態でご使用ください。

[対象デバイス]

R5F21206, R5F21207, R5F21208, R5F2120A, R5F2120C, R5F21216, R5F21217, R5F21218,  
R5F2121A, R5F2121C, R5F21226, R5F21227, R5F21228, R5F2122A, R5F2122C, R5F21236,  
R5F21237, R5F21238, R5F2123A, R5F2123C, R5F21247, R5F21248, R5F21257, R5F21258,  
R5F21262, R5F21264, R5F21265, R5F21266, R5F21272, R5F21274, R5F21275, R5F21276,  
R5F21282, R5F21284, R5F21286, R5F21292, R5F21294, R5F21296, R5F212A7, R5F212A8,  
R5F212AA, R5F212AC, R5F212B7, R5F212B8, R5F212BA, R5F212BC, R5F212C7, R5F212C8,  
R5F212CA, R5F212CC, R5F212D7, R5F212D8, R5F212DA, R5F212DC, R5F212E2, R5F212E4,  
R5F212F2, R5F212F4, R5F212G4, R5F212G5, R5F212G6, R5F212H1, R5F212H2, R5F212J0,  
R5F212J1, R5F212K2, R5F212K4, R5F212L2, R5F212L4

10. M16C/30Pワнтаイムフラッシュデバイスでのデバイス保護オプション

"Automatic"または"Interactive"を選択した場合、動作は"None"を選択した場合と同一となります。

11. R32CデバイスのCRCベリファイ

ブランク品でないデバイスに書き込みを行うと、CRCベリファイエラーが発生する場合があります。この場合は、リードバックベリファイ機能を使用し、書き込みが成功したかどうかを確認してください。

12. Windows Vista(R)

本アプリケーションは、64-bit Editionをサポートしていません。

13. M16C/50,60 シリーズのデバイス型名

デバイス型名の後に"\_xLine"を付加しているものがありますが、これはx線式接続専用の型名となります。

14. R32C/100 シリーズのデバイス型名

E<sup>2</sup>データフラッシュを搭載しているデバイスは、ECC有り/無し書き込み別で専用の型名をご使用ください。

- (1) ECC 有り -> "R5F64xxx\_ECC"
- (2) ECC 無し -> "R5F64xxx"

15. R8C/3x,Lxシリーズの通信速度

E8a 経由での接続において、125kbps で通信することはできません。

以上